

修学旅行から元気に帰ってきました。みんなの想いをひとつにして、多くのことを学んだ旅でした。
(Part 2)

大切にしたいこと

あいさつ・掃除・思いやり



〈法隆寺〉続いて、法隆寺に行きました。1993年に日本で始めて世界文化遺産に登録された世界最古の木造建築であり、訪れる者すべてにその歴史の重さを感じさせていました。「聖霊院」の前に法隆寺の「鏡池」があります。池の西側に、正岡子規が明治28年に法隆寺を訪れて、茶店で好物の柿を食べ

たときの有名な俳句「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」の句碑が建っており、バスガイドさんの説明を聞いて、皆、その句碑の句をしっかりと読んでいました。

1400年以上も前に、何も機械がない時代に、こんなに高い建物を造ったことに、みんな驚いていました。また、ガイドさんから、木の組み方などを聞いて感心していました。法隆寺の時間が短く、忙しい見学になりましたが、太古の昔にもどったような特別な雰囲気、歴史的建造物をしっかりと目に焼き付けてきたことと思います。

世界最古の木造建築 法隆寺



〈神戸ANAクラウンプラザホテル〉その後、神戸クラウンプラザホテルに向かいました。バスがホテルに近づくと生徒は、「すごい〜！」とホテルのりっぱさに、若干引き気味でした。そして、10階に向かうエスカレーターでも、みんな辺りをキョロキョロ見回して、感嘆の声を上げていました。夕食会場もたいへんゴージャスで広いところでしたので、生徒はいつもどおり「たいへん上品に」食事をしていました。

部屋の使い方もととてもきれいで、翌朝の点検も、どの部屋もきれいに片付いていました。日頃の生活習慣の表れでしょうね。各ご家庭での指導が行き届いていることがたいへんよくわかりました。

3日目 (5月14日土曜日)

〈姫路城〉3日目は、姫路城の見学に行きました。姫路城は去年リニューアルされたので、とても美しく、真っ青な空に、天を突くように威風堂々とそびえる白く輝く大天守。その姿が、白い鷺が舞い立つように見えることから、別名「白鷺城」と呼ばれています。世界文化遺産・国宝の



姫路城



美しい姿を次の世代に引き継ぐために、漆喰壁の塗り替えや屋根瓦の葺きなおしを中心に約5年かけて、改修が行われたそうです。

子どもたちは、天守閣まで上がって、姫路市全体をながめることができました。

途中の階段は、天井が低く、上がりにくいように工夫されていました。



<南京町>

その後、最後の見学地南京町に行きました。南京町では、餃子、ラーメン、から揚げ、ゴマだんご、豚まん・・・など、中華料理を安い値段で食べることができました。行列のできる有名店には、時間がなくて並べなかつたと思いますが、みんな短い時間ながらいろいろなものを食べて、最後の見学地を満喫していました。

おみやげを買うのも最後なので、走り回って買い物をしていましたが、時間に遅れた人がだれ一人いなかったことは、素晴らしかったです。

こうして、2泊3日の旅は、終わりの時間を迎えます。全員元気に、新神戸へ向かうバスにのり、一路保護者の皆様の待つ北九州市へ向かいました。

新幹線の中でも、一般の方と同じ車両の生徒もいましたが、大騒ぎをすることもなく、マナーを守って楽しんでいました。

旅行前に、荷物検査で不要なものを持ってきた人がいたことは残念でしたが、みんな仲良く、学年のチームワークを高めた旅行になったと思います。



また、実行委員の皆さんは、1日目も2日目も、真剣に反省を行い、良い点と改善する点について、細かく意見を出し合い、その後の班長会で立派に発表をしてくれました。議論をしたこともありましたが、少しでも良い旅行にしていこうという意欲が感じられ、3日間で実行委員さんたちの成長を感じられた旅行でした。そして、何より、実行委員さんのチームワークが良いことに感心しました。

3年生の皆さんは、この思い出を大切に、これからさらに良い学年づくり、学校づくりに努めてください。

最後になりましたが、2泊3日全員事故なく、元気で帰ってくることができたことを1番うれしく思います。保護者の皆様にも、様々な面でご協力をいただき、ありがとうございました。

<生徒の感想>

3日目。いよいよ最終日、白鷺が羽を広げたような美しさには圧倒されました。中にも入ることができ、最上階まで上ったものの、人が多く混雑しており、ゆっくりと景色を楽しむことはできませんでした。

最後に行ったのは、神戸の南京町。私は、そこで、神戸牛のメンチカツバーガーを食べました。今まで食べた中で最もおいしいと感じ、友だちにも伝えて、いっしょに食べました。

こうしてあっという間に3日が過ぎ、修学旅行が終わりました。始めは、あまり期待していなかったのですが、終わった後になると「もう1回行ってみたい!」と思いました。修学旅行から帰って来て、早速、お土産を身内やクラブチームなど、いつもお世話になっている人たちに渡しました。

撮ってきた写真を見ながら、家族の間ではいつも以上に会話がはずみました。

最後に、この修学旅行で私が学んだことは3つあります。一つ目は、時間を守ることの大切さ。(中略)二つ目は、周りに気を配ることです。(中略)三つ目は、感謝の気持ちをもつことです。保護者や先生、観光業者の皆さんやホテルの人、実行委員の方など多くの方々のお陰でこの修学旅行が成り立っているのです、感謝の気持ちは忘れてはならないと思います。

そして、最後に、今回の旅行に生徒全員が参加できたことが最も素晴らしいと思いました。(3年3組)

3日目は、朝早く起きたので、「先生に起こされる前に準備しよーや!」と言って、6時30分前には出発準備を終わらせました。バスで姫路城まで行くとき、今日で最後なんだなと思い悲しくなりました。とても階段が急だったり、高い段差がたくさんあったので、昔の人はバリアフリーを意識していないなと思っていたら、敵が入りにくいようにわざとそうしていると知って、昔の人の工夫はすごいと思いました。(中略)最初はしゃべったことない人もいて、楽しく過ごせるか心配だったけど、バス停まで走ったり、みんなで問題を解決するうちにだんだんと打ち解けてきて、最高に面白くて、楽しい班だと思いました。(3年2組)